

公益財団法人 8020 推進財団

平成 27 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名： かかりつけ歯科医「口腔がん」普及啓発事業

2. 申請者名： 公益社団法人 東京都歯科医師会
会長 高橋 哲夫

3. 実施組織： 公益社団法人 東京都歯科医師会
成人保健医療常任委員会

4. 事業の概要：

都民に対し「口の中にもがんは出来る」という認識を持ってもらうために、口腔内のことは口腔がんも含め、何時でも気軽にかかりつけ歯科医に相談できることが口腔疾患の早期発見に繋がり、都民の健康保持・増進に極めて重要であると考えている。3 か年計画の最終年である 27 年度は、都民に対する普及啓発も併せて行うため、「口腔がんフォーラム」を開催し、医療関係者だけでなく、広く一般からも受講者を募集した。

5. 事業の内容：

事業計画の最終年にあたる 27 年度は、具体的に都民への働きかけをどうすればよいかといった実践編にするべく、「口腔がんフォーラム」では、地域における口腔がんへの先進的な取組について紹介することを最大の目的とした。行政との連携が非常にうまくとられ、口腔がん検診を導入することに成功した江戸川区での取組について、江戸川区歯科医師会の齋藤祐一会長にご講演いただいた。

また、齋藤会長の講演の前には、日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座教授の又賀 泉先生に、「口腔がん；診断と治療の現状」と題したご講演を、東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座教授の柴原孝彦先生に、「口腔がん検診のマネジメント～地域歯科医師会と協力して～」と題したご講演をいただき、受講者には、診断・治療の知識を得ていただくとともに、検診の重要性についても認識いただき、さらには口腔がん検診の事業化への方法論などを学んでいただいた。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

他の先進国と比べ日本では「口腔がん」が年々増加傾向にある。これは世の中で「口腔がん」というものがまだ一般的ではないということも一因としてあることが考えられ、都民に対してもっと「口の中にもがんは出来る」という認識を持ってもらわなければならない。そのため、これからも引き続き講演会を実施し都民に対する普及啓発活動を行い、さらには他地域における口腔がん対策への取り組み状況を調べ、今後の活動に役立てることが重要と考える。